

経営比較分析表（令和2年度決算）

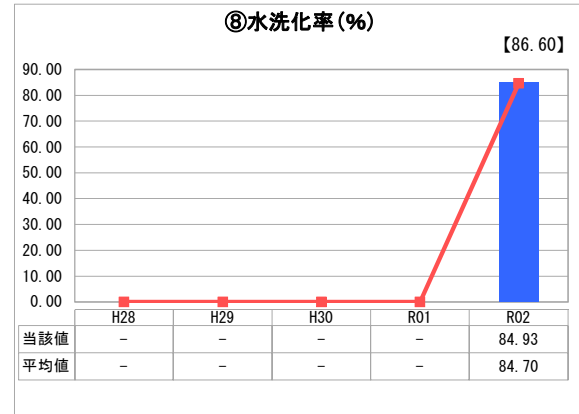
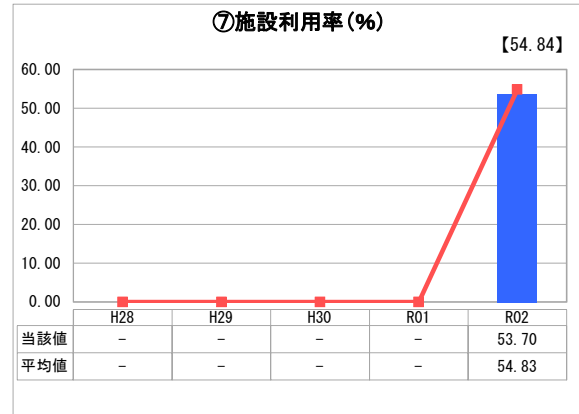
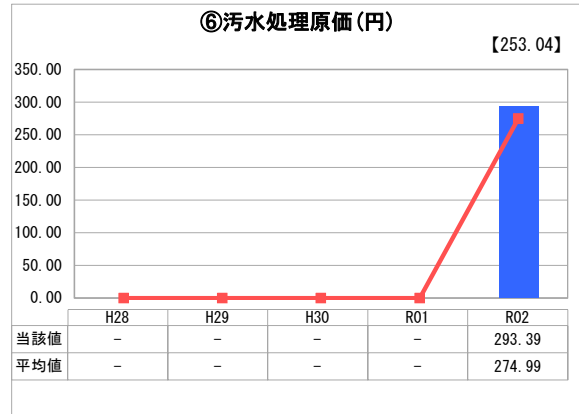
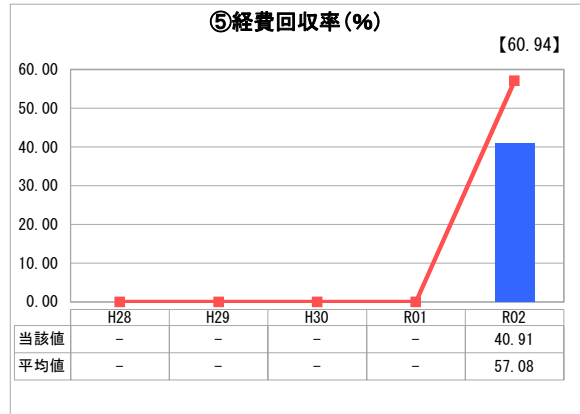
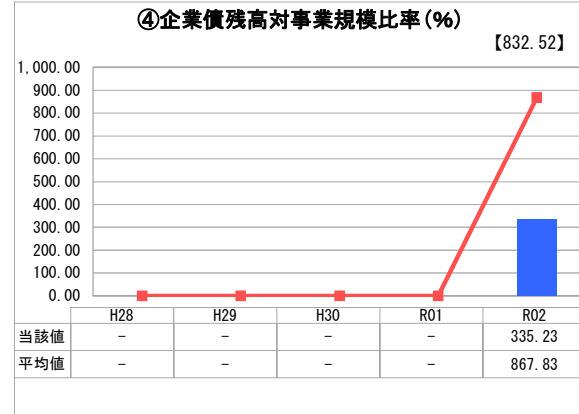
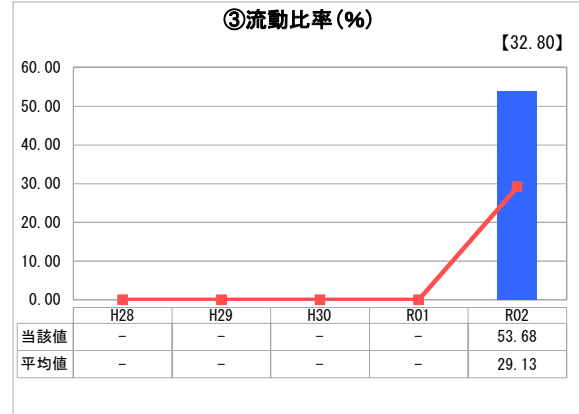
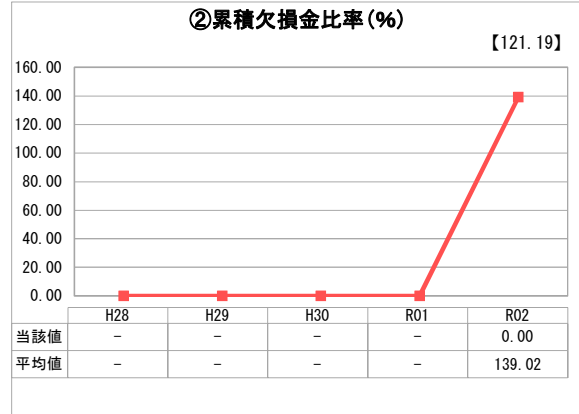
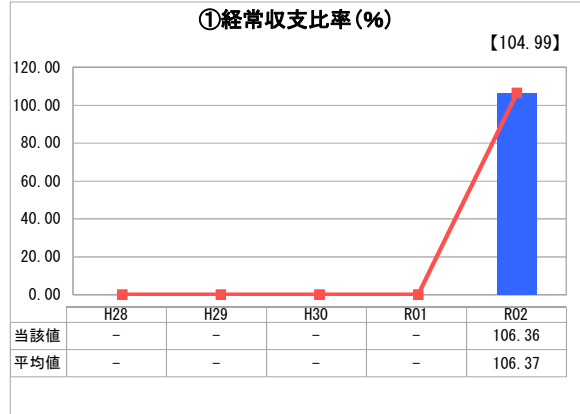
埼玉県 宮代町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 65.69 | 2.49 | 100.00 | 3,039 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 33,824 | 15.95 | 2,120.63 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 843 | 1.40 | 602.14 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値（当該値） |
| — | 類似団体平均値（平均値） |
| 【 | 令和2年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

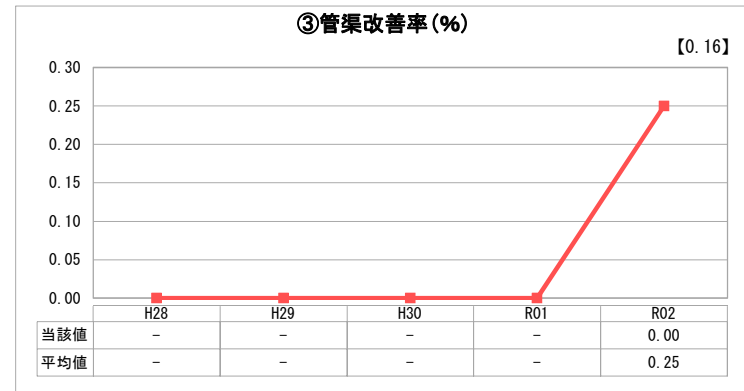
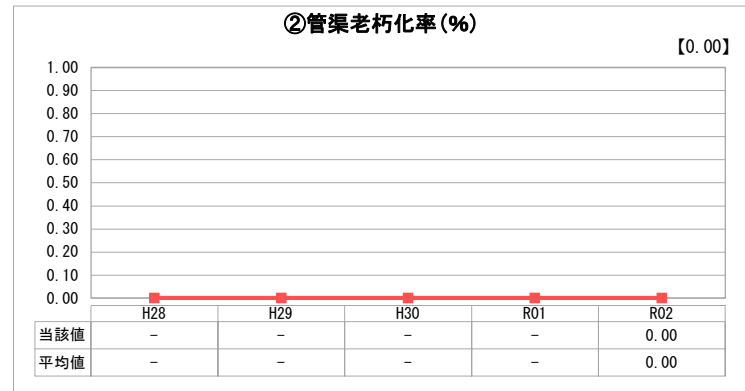
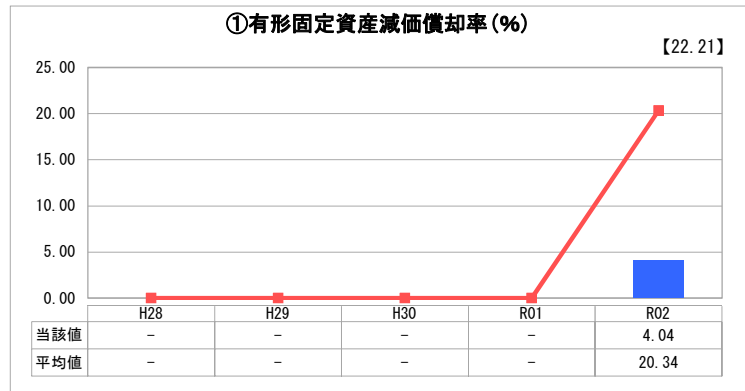
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
一般会計からの繰入金に依存しているため100%を超えています。経費回収率が100%を下回っています。費用の削減に加え、使用料水準の適正化に努めます。
- ② 流動比率
全国及び類似団体と比較して高い数値にあるものの、法適用初年度で、内部留保資金の蓄積もないことから、100%を大きく下回っています。一般会計からの繰入金により補完できていますが、使用料の見直しにより自己財源の確保に努める必要があります。
- ③ 企業債残高対事業規模比率
全国及び類似団体平均と比較して大幅に低いものの、今後も繰入金を減らし、企業債の償還に努めます。
- ④ 経費回収率
全国平均及び類似団体と比較しても低い水準にあります。使用料の見直しや公共下水道への接続などの検討をしていきます。
- ⑤ 汚水処理原価
概ね平均となっていますが、使用料での回収が困難な額となっています。したがって、汚水処理に係る費用を削減する必要があります。
- ⑥ 施設利用率
全国平均及び類似団体平均と比較して同水準となっておりますが、利用率を高めるため、接続の促進に努めます。
- ⑦ 水洗化率
全国平均と比べ若干低い水準となっています。引き続き組合と連携し接続の促進を図り水洗化率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
法適用初年度のため、類似団体と比較しても低い状況にあります。本町の農業集落排水事業は平成10年に着手し、平成17年に供用開始をしたため、施設の老朽化の状況については差し迫った課題があるとは言えませんが、今後は老朽化による更新費用が発生することが見込まれるため、費用の削減を目的として、宮代町下水道事業経営戦略に基づき、公共下水道への接続検討を行います。
- ② 管渠改善率
耐用年数を超えた管渠はありませんが、改良工事が短期間で集中しないように計画を策定し、改良工事を実施していく必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

経費回収率が100%より大幅に低く、人口増による使用料収入の増加も見込めないことから依然として厳しい状況にあります。使用料を見直し、使用料水準の適正化が対策の一つとして考えられますが、大幅な改善が必要なため、あまり現実的ではありません。本町の下水道事業経営戦略に基づき公共下水道への接続を検討し、抜本的な改革を模索します。

※令和2年度から地方公営企業法を全部適用し、企業会計に移したため、令和元年度以前の指標は表示していません。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。